



下境っ子

直方市立下境小学校
校長 塩田 朋久

最上級生へのステップ・・・自然教室

5年生は、27日(金)・28日(土)と国立夜須青少年自然の家へ自然教室に行ってきました。5年生のめあては【「Chance, Challenge, Change」～成長できる機会に、進んで挑戦し、よりよい自分になっていく自然教室～】でした。

運動会が終わり2週間。一人一人が役割を担い、新たなめあてに向けて準備してきました。自然教室は多くの学校が5年生対象で実施します。宿泊を伴う集団生活を行い、時間、礼儀、協力、そして臨機応変な行動力を高めていき、きたる最上級生へのステップとなるのです。

フィールドビンゴやキャンドルのつどい、野外炊飯などの活動で、子どもたちはお互いに声を掛け合い、協力する姿がたくさん見られ、とっても楽しく活動できていました。もちろん、教師に頼らず「自分たちで考える」ことを大切にしていたので、失敗もたくさんあったと思います。できたこと、もっとがんばらなければならないことを振り返り、課題を克服しながら最上級生に向かってほしいと思います。

【振り返りより】

- ・いろいろな活動があり、その中でみんなと協力することができました。これからみんなと協力する場面があると思うので、学んだことを生かしたいです。

- ・今まで、みんなのことをまとめたり、中心にいたりすることが少なかったけど、自然教室に行って、自分から進んで「リーダーになりたい!」と言えるようになりました。



防災学習のまとめに4年生が「避難体験」



4年生は社会科学習で「防災」について学習してきました。自然災害から人や地域を守るために、国や自治体がどんな取組をしているのか、自分たちはどんな備えをすればよいのかなど、まさしく現在の私たちにも必要な学びでもあります。1日(水)、直方市の「防災・地域安全課」のご協力を得て、実際の避難体験をしました。直方市の水害において市としての取組の説明を受けた後、実際にパーテーションをおうちの方と組み立てたり、非常食を試食したりしました。

自然災害は、どこでおきてもおかしくありません。大雨や台風で毎年のように「臨時休校」をしている状況です。いざという時にどう行動するか、相互扶助の気持ちも持って備える必要があると改めて思いました。

【振り返りより】

- ・パーテーションを作るとき、協力して楽しくできました。防災のレベルによって、避難所が変わることが勉強になりました。非常食がどういうものかも分かりました。

- ・直方市は水害がおきやすい場所と知ることができてよかったです。非常食はお湯をわかすだけでできることに、びっくりしました。

